

## 法人内研修 ～人財を育むために～

平成会では人材育成の一環として、各職級に合わせた法人内研修を行っています。

一般職研修の部では、業務改善や支援の向上を目指して、実践的な「課題解決」の取り組みを行っています。この研修は毎年行われ、グループごとの実践発表（プレゼンテーション）は今年で6回目となります。最初の頃は、目の前の一時的な課題への取り組みが多かったのですが、徐々に中長期的な取り組みをするチームが増えてきました。将来像を見据え計画的に改善していく事が根付いてきたとも言えます。

宮領デイセンターは開所して3年目ですが、開所1年目からこの研修に参加し、利用者支援のシステム作りや3年計画で取り組んできました。初めの頃、職員たちは「わからない、教えてほしい」と言っていました。月日を経る、経験を積む中で確実な実績や良い支援が出来た成功体験から「支援の楽しさを感じられた」と言うようになってきました。

また、教えていく立場に成長した職員も生まれ、「教えてもらう」から「自分で考える」という意識が芽生え、今では、職員自らが勉強会を開くまで成長しています。



人材育成研修の様子

平成会ではこの法人内研修の取り組みから、自らが考え実行する職員が次々と増えてきています。そしてそれはかけがえのない人財へとなっています。

宮領デイセンター

管理者 堀川 勝彦

## 西の池学園

「ニシノ家」オープン！

コロナ禍において、入所施設では利用者さんの生活にもいろいろ制限がかかる事が増えてきました。その中でも、利用者さんの余暇をより充実させようと、新たな取り組みとして居酒屋「ニシノ家」を始めました。

参加する方により本格的な居酒屋を味わってもらうために、のれんやメニューを作成しました。ビール、ワイン、カクテルなどの飲み物にはノンアルコールも準備し、枝豆やポテトチップスなどのおつまみも用意しました。

9月24日の開店初日には、開店前から覗きに来る利用者さんも多くみられ、準備する職員もワクワクしました。実際に普段の活動にはなかなか参加できない利用者さんも、みなさん笑顔で「おいしいね」「楽しいね」と職員や利用者さん同士で会話しながら楽しんでいる様子が見られました。

これから冬場になると、益々感染症に注意しながら生活することになりますが、少しでも充実した時間が過ごせるようにしていきたいと思えます。「ニシノ家」が利用者さんの楽しみの一つになれば嬉しいです。

支援員 増田 あゆみ



## 足浴って、イイネ！

### デイセンター「なごみ」

ようこそ、癒しの空間「なごみ」へ

デイセンターこだまでは、開所以来午後の活動の時間に「足浴」を行ってまいりましたが、この度、足つぼマッサージの資格を持つ職員が入職したことから、新しく2週間に1回「なごみ」の活動を始めることにしました。

「なごみ」では、日頃行っている足浴に加えて足つぼマッサージを行い、入浴剤で香りを楽しんだり、のれんに季節の飾り付けをしたりするなど雰囲気作りにも力を入れ、心も体もリラックスしてもらえよう工夫を施しました。

「なごみ」の時間は、利用者さんが自然と笑顔になることが多く、日頃見る事のない表情からリラックスされていると感じています。

これからも、「なごみ」の活動を充実させるために、こだまにいる職員が足つぼマッサージを学び、デイセンターこだまの活動の「目玉」として継続していきたいと思えます。



「なごみ」のひと時

支援員 植田 希梨花

### 宮領デイセンター

「足浴ができました！」

宮領デイの活動の一つに足浴があります。今ではMさんもリラックスした表情でゆったりと足浴を楽しんでおられます。でも、全員が足浴をすんなりされた訳ではありません。開所当時はMさんもその一人でした。

Mさんは、足浴に誘っても手で押しのけます。でも本当に嫌なのか？これから何をするのかMさんに伝わっていないだけではないのか？どうしたらMさんに足浴の手順や意味を伝えることができるだろうか？と色々考えました。

そこでまず、廊下にイスを置く事から始めました。数日経ってイスに座れるようになると、次は乾いたタオルで足を拭くことを始めました。慣れてくると濡れたタオルで拭く。次は空の湯桶に足を少しだけ湯を入れて浸けてもらう。日数を重ねる内に少しずつ湯を増量しました。

取り組みを始めて1年が経ち、今では10数える間足を湯に浸けることが出来るようになりました。

Mさんは経験のない新しい活動、見通しの持たない活動が苦手だったのかもしれませんが、



Mさんの足浴の様子

支援員 村上 靖典

ご本人に合わせたスマールステップの支援の重要さを再認識したワンシーンです。

## 管理栄養士の取り組み

「特別メニュー始めました！」

今年の9月から平成会全体の取り組みとして、月に1回、各月の季節にちなんだ食材を使用した特別メニュー「行事食」を提供しています。新型コロナウイルスの影響により、法人内の祭りやおでかけの中止、移動の制限がかかるなど、楽しみが減少していることもあり、食事を通して季節を感じて頂ければと、法人内の管理栄養士3名で企画し、この取り組みをスタートさせました。

すでに9月、10月と2回の提供を終え、あさひ利用者の皆様は、1週間前から掲示するポスターを見て楽しみにされていたり、実際に食べて「美味しかったよ！次は何かね？」と伝えに来てくださったりと、行事食が楽しみの一つになっているのだからと、実感しています。

これからも、利用者の皆様の楽しみや笑顔のために、美味しく楽しい行事食を作っていきます！

管理栄養士 田中 真帆



「行事食」の案内



ハロウィンメニュー

・30歳になった時に、どんな生活を送っていたいですか？  
 ・「家庭を持ちたい。23歳まで貯金して、調理師免許を取って、一人暮らしをしたい」  
 Nさんが夢に近付けるように、これからも全力で応援していきたいと思えます。

支援員 芝田 治子

※誌面の写真、名前については、ご本人の同意を得て掲載しています。